

2023（令和5）年度 社会福祉法人ひかり福祉会 事業報告

今年度は、4つの方針を掲げ事業推進を図ってきました。

- ① 利用者支援を中心と考える職員
- ② 変化への柔軟な対応
- ③ 切磋琢磨し合える職場環境の形成
- ④ ひかり福祉会内において、虐待（不適切な対応含む）を「0」にします。

この方針を掲げるきっかけともなっているのは、昨年、一昨年とひかり福祉会内において、虐待事案や不適切な対応が起こっているということに真摯に受け止め、起こってはならないこととして、方針に明記することとしました。法人全職員が、明確に理解できる、一致出来る方針ということを意識して掲げています。

4つの方針に対して、具体的に行った計画は以下の通りとなります。

① 利用者支援を中心と考える職員

- ・ひかり福祉会創立50周年企画の始動

2026年6月1日にひかり福祉会は創立50周年を迎えます。50年という節目を迎えるにあたり、若手職員を中心として、記念企画立案を担っていただいています。希望を持ちまた次の5年10年と事業継続していけるよう、その一歩となるように利用者さまを中心とした企画とすべく、現在検討を進めています。また、普段の業務においても、職員の都合が優先されていないか、常に点検と職員間のコミュニケーションを図ってきています。その中で、互いに指摘し合うまでは言いにくいのも実際ありますが、まず自分自身の行動を振り返り伝えあうことから始めています。

② 変化への柔軟な対応

- ・管理職面談の実施
- ・現場リーダーミーティングの実施

管理職面談においては、各事業所が掲げた目標に対し、進捗状況や事業所現況、課題を明らかとし、実感が伴う形での事業所の成長を第三者の視点入れつつ確認を行っています。

また、現場LMTでは、現場にて現在まとめ役を担っていて下さる職員に集まっていただき、事業所の現状、チームワークにて工夫されていることなど意見交換しています。

12月に行った職員研修後、個別にて行い実際の内実を含め事業所の様子をお聞きすることとなりました。チームづくりの難しさを改めて感じるとともに、職員の得意・適性を生かした業務の進め方を考えていく必要があります。

③ 切磋琢磨し合える職場環境の形成

- ・法人職員会議の実施
- ・法人職員研修の実施
- ・管理職研修の実施
- ・意向アンケート返信
- ・各事業所への会議参加

今年度は、コロナ禍もあり長く行えていなかった職員全体での法人職員会議を開催し、事業所の現況報告を行っていただきました。職員研修は圏域別を実施し、方針に沿い事業所事業の進捗を発表していただきました。各事業所とも工夫を凝らして発表いただき、また現状の振り返りと到達の確認の場となったようで有意義な研修となっています。また、毎年正規職員対象に行っている、意

向アンケートでは、職員の様々な考え思いが綴られています。今回、執行理事会なりのお返事、返信をさせていただき、考えの深掘り、より深く捉えてもらえるようキッカケになればと思うところ
です。

④ ひかり福祉会内において、虐待（不適切な対応含む）を「0」にします。

- ・行政指導の下、虐待を繰り返さないために、研修計画を進める
生活支援事業において、世話人含めた研修の実施

行政への虐待通報後、法人としてもマニュアルに定めてある、虐待防止委員会を立ち上げ、事態への把握と、対応を進めてきています。職員にもそれぞれの価値観、考え方があるのは当然ですが、しかし職員も人であり感情もあります。困難な支援に直面した際には、1人で抱え込まず、複数の職員で対応する、相談していく、オープンに支援していく等で支援の見える化を図り、風通しを良くし客観性を高める工夫を行っています。研修もそのうちの1つです。

ただ、1度行えばそれで良いというものではありません、継続しての取り組みが必要です。

上記のように、方針と計画を連動させながら事業推進を図ってきています。また、事あるごとに方針及び、四半期での法人業績の発信を行っています。

◆前向きな胎動

方針と計画を意識した事業所運営を柱とし、一定事業所においても根づいてきています。職員の意見や考えが表に出てきつつあることが1つの前向きな胎動と感じています。そのことにより、事業所の取り組みが活性化され、利用者さまが作業や活動に生き生きと取り組まれる表情も見られるところ
です。

次に職員への働きかけ、「コミュニケーション」を強めることを軸とした1年であったと思いま
す。当初から取り組む予定でないこと含め行い、ここまで振り切って取り組んだことはなかったこ
とと思います。～仮説「職員の能力を最大限発揮することが、利用者支援へ好影響をもたらす」～
辿っていくとその仮説を証明するために、様々なことを行ったということです。現在のところそ
の証明には至っていませんが、法人内部への働きかけをこの数年行うなか、手応えを感じる年度で
あったといえます。利用者さまを通して、職員を見る、職員を通して、利用者さまを見る。これは、
表裏一体であり、両者の笑顔と幸せは連動していることと認識し、次年度以降も仮説の証明に取り
組んでいきたいと考えています。

2024（令和6）年06月01日理 事 会
2024（令和6）年06月19日評議員会
社会福祉法人ひかり福祉会
理事長 高橋 信二